



又キ巫女

筆おろし♥神社

(はあっはあ、やっと着いたぞ…！
ここが脱童貞のご利益があるという初筆神社か！)

「山奥の神社へ、ようこそいらっしやいました〜。
私は巫女の笹原天音と申します。ご参拝ですか？」

「あ…は、はいっ…。」

(うわあ、可愛い巫女さん。
しかも、なんてキワドイ巫女服！
い、いかん。前かがみになってしまう…！)

「うふふ♡
…それでは、境内に入る前にお清めをさせていただきますね〜」



「え…？　ち、ちよつと…何でズボンを脱が…
…って、ああ！　一体何を…？」

「わあ、すごい固くなってますね♡
はい、じゃあ前後にゆっくり動かしてみてくださいさ。い。
どうですかあ？　おちんちん気持ちイイですか？」

「は、はいっ…すぐく…！！」
(な、何だこの儀式は…？
いきなりいいのか、こんなこと…！?)

「拭いたまえ〜清めたまえ〜…あっああん♡
私も乳首におちんちんが当たって
感じちゃいますう♡」

「ううっ、俺もこのままじゃ、
でっ、出ちゃいますよ…！？」

アッ
ッ

「イキたくなったらイって良いんですよお？
白いのいっぱいっぱい出しちゃって下さい♡」

「で、でも…あつ、駄目だ！ で、出る！」

「ああつ、おちんちん服の中でビクビクして、
熱いのがどんどん出てきますぅ♡」

（す、すごいっ…噂には聞いていたけど
何て神社なんだ…!）

「以上で、お清めは終了です♡
それでは、社務所の方へご案内しますね」

ド
ビ
ュ
ッ
ド
ッ



「こ、これも何かの儀式ですか……!?!」

「はい♥あなた様のために巫女のおっぱいで御祈祷させていただきます♥」

「うあっ、柔らかなおっぱいがチンポに擦れて気持ちイイ……さらに舌が亀頭を刺激して……くうっ、これはたまらん……!」

「べろっべろ、唾液と汁でおちんちんヌルヌルになってきましたよ♥イキたくなったらガマンせずにイってくださいねえ♥」



「あっあああああ！
チンポを擦る動きがより激しく……！
こ、こんなのガマン出来るわけっ、
…イ、イクウ！」

「わあ、いっぱい出ましたねえ♡
んっ、ペロペロ…はあ、
搾りたての精液おいひれすう♡」



「では、初々しいおちんちん
頂いちゃいますね〜♡」

「い、良いんですか!?!
こんなこと……!」

「この神社では必ず御利益が頂けるんですよ。
うふふ♡」

「そ、それって……あつああ、チンポが吸い込まれて、
熱くて柔らかい肉壁に包まれていく……!」

「おちんちんズッポリ入っちゃいました♡
どうですかあ? 初めてのおマンコの感触は?」

「はあっはあ……す、すごく
気持ちイイです……!」

ズッポ
ッポ

「そ、それじゃあホントにこのまま
イっちゃいますよ……！
ううっ……でっ、出る！」

「はっあああ！ あなた様の精子っ……
ナカでいっぱいっ……出てますう……！
んっ……あっ、あああああああああ♡」



「ま、まさか、お風呂にも入れるなんて
至れり尽くせりですね…」

「心も体も十分に清めていただきたかったので。うふふ♡」

（それにしても背中に擦りつけられるおっぱいの
柔らかな感触がたまらない…！
あつ、体を洗う手が段々股間の方へ…！）

「ココは念入りに綺麗にしてあげますからね♡
亀頭の先まで丁寧に洗ってあげますよ。
ほらっほらあ♡」

「あつ、はああ…！
泡みれのチンコがリズム良く扱かれて
気持ち良すぎるう！」



「ああ、すごいっ♡
おちんちん手の中で脈打ってます♡
そろそろ、イキそうですか?」

「は、はいっ…
天音さんの手コキが気持ち良すぎてまた…
あっ…だ、駄目だ! 出るっ…!」

「わあ♡まだまだいっぱい出ますね♡
…汚れてしまったので
また洗い直さなといけませんねえ? うふふ♡」

ド
ビ
ョ
ッ

「さあ、昼間の続き…ですよ♡
今度はあなた様の方からお願いします♡」

「天音さんのおかげで俺もう童貞じゃないですけど、
…イイんですか?」

「ええ。純粹に、私はもつとあなた様と
繋がりたいんです♡
それとも嫌、ですか? わたしとじゃ…」

「そ、そんなことあるわけ
ないじゃないですか!
俺ももつと天音さんと…したいですよ!」

「ふふ、よかった。
それじゃあ、遠慮なく来てください…
私の中に♡」



「ゴクリッ…。よおし！…くっ、おお！
トロットロのおマンコが
良い具合に締め付けてくる…！
…ほらっ、どうだい天音さん！」

「あっああん！
ソコっ、ソコおおおおおお！
気持ち、イイですううううう！
もっとズポズポしてええええええええええ♡」

ズ
パ
ッ
ス
リ
ッ
ポ
ッ

「ココが、ココがイイのかい！？
はあっはあ、濡れた肉髀がチンポに擦れて
すごく気持ちイイぞおおおお…！」

「あんっあんっああん！
勃起おちんちんでかき回されるうううう♡
駄目ええええええええええ！
イクうっ、イっちゃいますうううううううう♡」

「俺も、そろそろ……
このままっ、中に出すよー!」

「出してえええええええええ!
ドロドロの濃厚ザーメン
中にいっぱい出してえええええええええ♥」

ド
ロ
ドロ
ドロ

「あああああああああああああああああああ!
熱いものがお腹の奥にどんどん入ってきますすううううう♥」



「色々お世話になりました！
初めてが天音さんで良かったです…！」

「ふふ♥改めてそう言われると
少し照れてしまいますね。
でも、ありがとうございます♥
またいつでも来てくださいいね」

「え？ 俺もう童貞じゃないですけど
イイんですか!？」

「はい。神社自体は全ての人に開かれてるので。
また御祈祷…させて頂きますよ？ うふふ♥」





























